



【発行】**重国たけし**

日本共産党狛江市議予定候補、党
狛江市環境・まちづくり推進室長

【連絡先】 ☎ 090-1775-9052

mail : sigeny@nifty.com

気候危機打開は未来への責任

住宅・公共施設省エネ、ソーラーシェアリング推進、原発ゼロを=都・環境局へ要請



要請書提出、発言する重国たけし市議予定候補

1月24日の共産党議員・候補者による東京都交渉に参加しました。出席したのは環境局・都市整備局との交渉でテーマは気候変動対策。

東京都への要請項目は、

- ・ 政府に**温室効果ガス削減目標を引き上げる**よう求める
- ・ 太陽光パネル設置義務化への都民と中小企業に向けた支援制度
- ・ 自治体のCO2削減目標計画立案を都として支援する
- ・ **学校や公共施設等の省エネ支援**
- ・ CO2大量排出をもとなう**大規模開発や多数の樹木伐採、大規模道路建設などを見直す**
- ・ 政府に**原発ゼロ**を求めるなどです。

私も発言し、2030年温室効果



陳情は、自民・公明議員と無所属の吉野芳子議員、三宅眞議員の反対で否決されました。その後、都内の市民団体からの陳請

果ガス62%削減、貴重な農地を生かしながら環境教育としても有効な生産緑地でのソーラーシェアリングを可能とすること、狛江の市民センター改修のような公共施設改修で省エネ化が進むよう支援を強めること、大規模開発によるCO2発生量「見える化」のしくみを整えることなどを求めました。

狛江市で、ごみ半減推進、気候危機非常事態宣言にとりくむ

これまで私は、狛江市の「ごみ半減推進審議会」の委員として、市民参加でのごみの徹底した発生抑制、プラスチックの削減・資源化などにとりくんできました。

20年10月には、世界で広がる「気候危機非常事態宣言」を狛江市でも行なうよう五百人の市民の賛同者とともに市に求めるとりくみもおこないました。この議会



みなさんの、ご意見やご要望などお寄せください。

(提出者は中野区民)が議会で採択され、狛江市は21年4月、ゼロカーボンシティ宣言(2050年までにCO2排出実質ゼロ)を行ないました。今後具体的にどう進めるか、本気の取り組みかが問われます。あらゆる政策の前提に気候危機打開を位置づけること、住宅等の断熱化、市民センターの増改築にもなう省エネ化や再エネ導入も重要な焦点です。

福島事故忘れず原発ゼロへ

持続可能な社会への転換は待たなです。岸田政権や大手電力会社は、福島原発事故・ふるさとを奪われた被災者の苦しみをなかつたかのように、利潤追求へ老朽原発再稼働、放射能汚染水海洋放出を強行しようとしています。こうした逆戻りを決して許さないために、全国の世界のみなさんと力を合わせ、狛江からも声を上げ取り組みを広げて行きたいと思えます。